

平野太祐（西区）
新政クラブ

乗り合いバスの路線再編

問 本市の公共交通サービスはデルタ市街地を広く網羅しているが、一部では、居住地から停留所まで距離があり、公共交通を利用しにくい地域がある。サービス向上を図るため、どのようにバス路線の再編を進めていくのか。

答 デルタ市街地は、都心を経由せず東西を横断するバス路線が十分でないため、拡充に向けた取り組みを進めている。「西風みなとライン」は運行ルートを変更しており、令和8年度は運行日を平日に拡大予定。また、西広島駅から平和大通りや市道吉島観音線などを経由して御幸橋を結ぶ「こいみゆきライン」の実証運行を予定している。検証結果などを踏まえ、利便性の向上に努めていく。【道路交通局】



――発言項目一覧――
・音楽
・公共工事の入札
・スポーツ施設
・**乗合バス事業の共同運営システムの構築**
・道路の整備

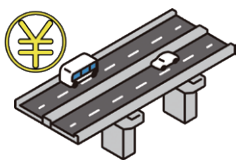


亀井一夫（安佐南区）
至誠会

4号線の緩和措置

問 広島高速4号線の過去の料金収入総額を試算すると440億円にも上り、事業費の380億円を優に超えている状況下、新料金については、生活道路であることを加味して20%引きなどによる緩和措置を要望する。今回の料金見直しに当たり、市は広島高速道路公社に対しどのような働き掛けをしているのか。

答 本市からは、利用者の声を十分に踏まえた上で進めてほしいと公社に伝えている。なお、公社では新たな料金案について、令和8年7月に開催した広島高速道路公社料金等調査会で承認を得た今後の進め方に沿って、現在、利用者等への意見聴取を行っており、今回の議員からの要望については、議会の場での要望として公社に伝えたい。【道路交通局】



――発言項目一覧――
・**ひろしま西風新都**
・スクラップヤード
・違法建築物及び既存不適格建築物
・生活保護



石川さおり（安佐南区）
鈴蘭会

子育てしやすいまちへ

問「子育てしやすい広島市」を目指し、子育て家庭や現場の声をどのように施策へ反映していくのか、こども・若者・子育て支援策の推進体制や取り組みについて、本市の考えを問う。

答 こども・若者・子育て政策推進本部において、子育て世代である若手職員で構成するワーキンググループなどを設置し、施策の企画・立案や既存施策の見直しなどを行う。さらに、市民に身近な施策に取り組む局・区等では、利用者からの意見を踏まえた上で、こども・若者の育成と子育て家庭への支援との関わりを検証した案を推進本部に報告。同時に、現場でできる改良・改善はできることから取り組む。今後もスピード感を持ち、支援策の充実・強化を図りたい。【こども未来局】



――発言項目一覧――
・**子育てしやすい広島市の実現**
・障がいのあるこどもの成長段階に応じた環境整備
・金融経済教育の推進
・指定地域共同活動団体制度の活用促進



豊島永子（西区）
自民党・市民クラブ

不登校児童生徒の支援

問 不登校児童生徒数が急増する中、悩みを抱え孤立する親子の支援が必要である。保護者会「木の実の会」の開催状況などの情報発信を積極的に行うことや、ふれあい教室に自宅から通えるよう、未設置地域へ拡充することについて、どのように考えているか。

答「木の実の会」については、本市公式SNS等での情報発信に加え、令和8年度からは、学校から不登校児童生徒の保護者に配付する文書に二次元コードを添付するなど、情報にアクセスしやすくなるよう取り組んでいる。また、ふれあい教室については、地域バランスも考慮しながら、新たな設置を進める必要があると考えている。【教育委員会】



――発言項目一覧――
・**子育て支援**
・介護事業者のBCP性向上
・緊急避難時における「感震式自動開錠鍵ボックス」の設置
・商工センター地区のまちづくり



石田祥子（佐伯区）
公明党

高齢者の排尿支援

問 高齢者の排尿に関する問題は、人に相談しづらく、「年齢のせいだから仕方がない」と諦めてしまう人も多い。しかし、排尿の問題は生活の質の低下にもつながることから、予防や早期受診の重要性を含めた正しい知識の普及啓発が必要と思うがどうか。

答 地域包括支援センターの介護予防教室では、数は少ないが排尿ケアをテーマとした教室も開催している。数が少ない背景には、悩みを相談しづらいことも影響すると考えられるため、同センター等と排尿の問題が潜在的に存在することの認識を共有するとともに、排尿ケアがテーマの介護予防教室の実例等を紹介し、ニーズに応じた教室の開催につなげるなど、排尿の正しい知識の普及・啓発に努めたい。【健康福祉局】



――発言項目一覧――
・5歳児健診
・**高齢者の健康づくりと社会参加**
・救助実施市の指定と配慮が必要な方の避難



山本昌宏（西区）
市民連合・市民の声

こどもの居場所は今？

問 近年の猛暑の影響を考えると、夏休み期間中、こどもが安全・安心に過ごせる涼しい場所を提供する必要がある。放課後児童クラブで受け入れができないこどももいる中で、本市はどのような取り組みを行っているのか。

答 夏休み期間中には、児童館開館を1時間早めたり、「子育て家庭等居場所づくり事業」の開催日数を増やしたりするなどし、居場所を提供している。令和8年度は小学生が利用できる涼しい居場所のさらなる充実を図り、午前中の小学校の図書室を活用し「夏休みこども居場所提供モデル事業」を実施したほか、「子育て家庭等居場所づくり事業」の開催日数をさらに増やし、多いところではお盆期間を除く平日にほぼ毎日開催した。【こども未来局】



――発言項目一覧――
・**夏休み期間中のこどもの居場所づくり**
・国際会議の誘致
・都市の質を高めるまちづくり



西佐古晋平（安芸区）
自民党・市民クラブ

安芸南高校の統廃合

問 県は安芸区の安芸南高校と、海田高校を令和15年度までに統廃合する計画を関係者に事前説明することなく決定したが、同窓会やPTAなどは納得していない。計画の策定過程などにおいて、市は県からどのような説明を受け、今後どのような対応を考えているのか。

答 令和8年2月上旬に、議員紹介の2校の統合のほか、他の学校の統合や学科改編などを予定しており、計画的に推進していきたいと説明を受けた。その後、県は一部学校について説明会を実施し、同年5月に計画を策定したが、依然、不安や納得していないといった声もあるため、引き続き県に対し、地域住民などの声をしっかりと聞き、丁寧な説明と十分な議論を行いながら進めてもらうよう、機会を捉えて伝えていきたい。【教育委員会】



安芸南高等学校校舎

――発言項目一覧――
・こども・若者が楽しみ、滞在したくなるまちづくり
・**公立高校のあり方**
・広島市の平和行政等

※紙面の都合上、1人1問の掲載としています。掲載している質問文は、発言議員本人が作成したものです。　※【】内は担当局です。